

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2286 号

Evaluation of Postgraduate Rural Medical Training Programs - Strategies for Medical Education and Workforce Recruitment and Retainment: A Systematic Review

卒後へき地医療研修プログラムの評価 - 研修プログラムが、へき地で働く医師の確保と定着および医学教育に与える効果：システマティックレビュー

齋藤 学 (さいとう まなぶ)

博士 (医学)

論文内容の要旨

本研究では、質的研究手法を用いたシステマティックレビューを行い、以下の3つの研究課題を検討した。1) 世界各地で実施されている卒後へき地医療研修プログラムの成果はどのようなものか、2) プログラムや研修の評価はどのように行われているか、3) これらの研修プログラムの有効性を評価する際にはどのような評価モデルやアプローチが用いられているか、という3つの研究課題を探った。

医学教育関連の学術誌に掲載された、卒後へき地医療研修プログラムの評価についてのシステマティックレビューを実施した。PubMed、PsycINFO、ERIC、Web of Science のデータベースを検索し、採択基準を満たす研究を特定した。

データベース検索により同定された 1,297 件の論文のうち、1,271 件の研究は、包含基準を満たしていなかったため除外され、最終的には、26 件の研究に絞られた。26 件の卒後へき地医療研修プログラムの評価は、オーストラリア、カナダ、米国、ノルウェー、英国、インドで実施され、主にサーベイ (調査)、インタビュー、アンケート、既存のデータベースからの抽出であった。研修プログラムを修了した医師が働いている場所を記した研究が最も多く、研修プログラムの成果と影響の評価的結論を引き出す指標と位置付けられていた。次いでプログラムの改善や、評価のための評価ツール正当化が続いた。これらの指標の多くは、プログラムの成果の記述を超えたものではなかった。

この系統的レビューでは、4つのテーマが浮かび上がってきた。1) へき地で働く医師のためのへき地医療研修プログラム、2) 医学教育におけるプログラム評価、3) 評価の評価：カリキュラム開発の質の改善に資するメタ評価、4) エビデンスの強みと知見の一般化の可能性である。

プログラムの目的や提供する内容と、その根拠となるエビデンスギャップには細心の注意を払う必要がある。専門的な教育プログラムの開発や改善は、長期的なへき地の医療従事者の確保に貢献しており、プログラム評価によって、質、量の両面で効果的なへき地で働く総合診療医の養成や、へき地のニーズに特化した包括的で質の高い医療を提供するための必要要件を検証できると考えられる。